

令和6年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
港南	1	区役所へのデジタルコンシェルジュの配置	常駐のデジタルコンシェルジュを区役所に2名配置し、区民からのオンライン手続き等に関する質問や相談を受付	デジタル統括本部	△
港南	2	人生記念樹配布事業の事務見直し	1 申し込み方法を見直し、区役所での受付を廃止 2 配布方法の見直し	環境創造局	△
港南	3	桜岡小学校の建替え	1 内装の木質化 2 校舎内の動線の改善 3 エレベーターの設置 4 地域防災拠点としての体育館・防災備蓄庫の位置や運用方法等について地域調整 5 建替工事に伴う児童の安全確保	教育委員会事務局	○
港南	4	吉原小学校の建替え	1 児童の安全に配慮した工事計画の策定 2 十分な容量を持つ防災備蓄庫の適切な配置調整 3 ハマッコトイレ及び緊急給水栓の適切な配置調整 4 体育館(地域防災拠点)へ誰もが移動しやすい計画の策定 5 工事期間中の放課後キッズクラブのルーム・遊び場所の確保	教育委員会事務局	○
港南	5	市営野庭住宅・野庭団地の再生	1 区局連携による野庭団地・野庭住宅の再生 2 「みらいビジョン」策定後の地域へのサポート体制の維持 3 地域の活性化に資する野庭中学校跡地利用の検討 4 地域防災拠点の機能を最大限引き出す手法の実施検討 5 市営住宅建替え事業の手法検討と丁寧な地域説明の実施	建築局	○
港南	6	新たな横浜市南部病院へのアクセス強化	1 港南台駅から新病院までシャトルバス等を走らせることによるアクセス性の向上 2 病院敷地全体のバリアフリー化の促進 3 十分な台数の駐車場を確保することにより、車での来院者に対する利便性の向上 4 交通量の多い前面道路から、緊急車両等がスムーズに病院へ進入するための整備 5 生活道路等への交通量増加に対応した安全対策の検討	医療局	○
港南	7	放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ事業(補助金交付申請事務等)へのクラウドサービス導入における運営主体への支援体制の構築	1 クラウドサービス導入にあたり必要な機材等の調達に必要な費用の補助 2 クラウドサービス導入にあたり運営主体・区の事務負担軽減に資する施策 3 クラウドサービス導入を確実に推進するための予算確保	こども青少年局	△
港南	8	公園施設点検のデジタル化	1 公園の点検内容の電子データ管理 2 市内公園の施設状況を把握出来る早期のシステム構築	環境創造局	○

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	デジタル統括本部	港南区		区政推進課	
		担当者名	中島、田代、佐賀	TEL	847-8327
		共通区	全区		
		継続年数	新規		

提案種別	
予算・制度関連	
番号	項目
1	区役所へのデジタルコンシェルジュの配置
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>【課題と趣旨】</p> <p>オンラインのサービスや行政手続きは今後増加していく方向にあります。一方、区民のデジタルリテラシーの向上についてはサポートが不足している状況であり、デジタルに不慣れな区民はその利便性を享受できず、デジタルデバインドが進んでしまう恐れがあります。</p> <p>港南区では、デジタル区役所モデル区の取組として、令和4年度に期間限定のスマートフォン相談窓口を開設しました。取組の結果、相談者の多くが60代以上の高齢者であり、スマートフォンを持っているものの使いこなすことが難しい区民の方が多いことが分かりました。また、相談内容は初歩的なことが多く、多岐に渡っており、公的機関である区役所には何でも相談できる安心感があることが分かりました。区民からは「基本的なデジタルサービスの利活用に関する相談先がない」といった声が多く寄せられ、高齢者のデジタルへの抵抗感や不安を解消するサービスには高い需要があります。</p> <p>このような背景から、今後デジタルに不慣れな区民の不安を払しょくし、デジタルの積極的な利活用を推進するためには、デジタルに関する区役所への常設の相談窓口の設置が必要だと考えます。</p> <p>【実施効果】</p> <p>以下の点から、公的機関ならではの幅広く柔軟なサービスを提供することで、デジタルへの不安を払しょくし、安心感を提供します。横浜DX戦略のもとで、デジタルの利活用を促進し、区民の利便性と満足度向上を目指します。</p> <p>①スマートフォンの基本的な使い方から、オンライン手続きなど応用的な内容まで何でも相談できる</p> <p>②常設なのでいつでも相談できる</p> <p>③口頭の案内では難しい操作も対面で確実にサポート可能</p> <p>【基礎データ】</p> <p>「区民からの具体的な要望欄」参照</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )	
◇区民からの具体的な要望	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なデジタルサービスの利活用に関する相談先がない</li> <li>・アンケートで今後、デジタルに関して希望するサービスを聞いたところ、約60%が「インターネットでの行政手続きや申込み、スマートフォンの使い方の相談窓口」と回答（令和5年度「インターネット安全講演会」アンケート結果より。）</li> <li>・スマートフォン相談窓口の設置場所について、回答者の4割強がスマートフォン相談窓口は区役所にあると便利だと回答。他2つの選択肢（公共施設・民間店舗）と比較し、最も希望があることが分かりました。（令和4年度「スマートフォン相談窓口」アンケート結果より。複数選択可。区役所・公共施設・民間店舗3つの選択肢から選択。）</li> </ul>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さまに「便利になった」と感じていただけるデジタル、地域の交流と活動を支えるデジタル（令和5年度港南区運営方針「あったかデジタル 港南」の推進）</li> <li>・スマートフォン相談窓口の設置</li> </ul>	
◇提案内容・概算額等	
<p>【提案内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常駐のデジタルコンシェルジュを区役所に2名配置し、区民からのオンライン手続きやスマートフォンの使い方に関する質問や相談を受け付けます。</li> </ul> <p>【令和6年度概算額】 1区あたり ████████ 円  ※令和7年度の全区展開を見据え、複数区でモデル実施・実証</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	デジタル統括本部デジタル・デザイン室

◆局回答内容

デジタル統括本部		デジタル・デザイン室	
担当者名	長澤・富樫	TEL	671-4765

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>スマートフォンの基本操作について気軽に相談ができる場の必要性についてはデジタル統括本部としても把握しています。</p> <p>令和4年度から、デジタルデバインドの解消に向けた区が行う取組を支援し、広く展開することを目的に、デジタルデバインド対応支援事業を実施しています。効果や課題を確認したうえで、市域への展開を共に検討していきたいと思います。</p> <p>なお、すでに様々な主体が活動している状況を踏まえ、実証に先立ち、相談窓口の設置場所や体制について検討が必要だと考えます。</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

### 令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	環境創造局
------	-------

港南区		区政推進課	
担当者名	水井・酒井	TEL	847-8320
共通区	16区（鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区、保土ヶ谷区、旭区、磯子区、金沢区、港北区、緑区、青葉区、都筑区、栄区、泉区、瀬谷区）		

継続年数	新規
------	----

提案種別	制度関連
------	------

番号	項目
2	人生記念樹配布事業の事務見直し

◇地域の課題、基礎データ等

横浜市では、昭和52年から人生に思い出を残す、出生・結婚等の喜びを記念し、市民参加による緑の育成の推進を図るため、記念樹として苗木を配布しています。現在は、区庁舎での配布（年2回）を行っておりますが、事業開始当時と比べて区民の生活スタイルが多様化しており、より多くの方に記念樹の配布をするために、現在の市民ニーズに合わせた配布方法の検討が必要だと考えます。なお、閉庁日の区庁舎での配布には、イベントや災害対応・選挙等が重なった場合に、庁舎管理セキュリティ上の観点からも課題があります。

また、区役所で受け付けた申し込みはがきを、月1回環境創造局へ提出（月平均1～2件）しているため、区役所では使用しない個人情報を一定期間保管しており、区民の個人情報保護の観点からも見直しが必要であると考えます。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（職員からの提案）

◇区民からの具体的な要望

- ・配布日が分からなくなってしまい、受け取ることができなかった。置き配でよいので、届けてほしい。
- ・申し込みをしたが、配布日と配布場所（区役所のどこのか）が分からない。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

- ・人生記念樹配布事業のご案内リーフレットを、区役所において配架・配布し、事業周知を行っております。
- ・配布実施の際は、場所・使用物品の確保や庁舎管理担当ほか所管部署への通達、案内貼付（時間外）等の作業を行っています。
- ・区民から提出された申し込みはがきを、月1回、所管局課へ提出しています。

◇提案内容・概算額等

区民が安心して申し込みができ苗木を受け取りやすくすることで、より多くの方に苗木を配布し、市民の緑に対する愛着を深めるとともに都市緑化を推進することができます。また、本事業を積極的に周知していくことで、2027年に開催を控えている国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成にもつながると考えます。

そのため、「配布方法の検討」及び「区民の個人情報保護のため、区での受付廃止」を提案します。

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	環境創造局みどりアップ推進課
------	----------------

◆局回答内容

環境創造局		みどりアップ推進課	
担当者名	森	TEL	671-3447

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容 令和6年度後期配布分から、ハガキでの受付を廃止するとともに、配布場所をガーデンネックレスと連携した会場にするなど、現在の18区役所の配布から見直す予定です。そのほか、より効果的な配布方法について検討していきます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

### 令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	教育委員会事務局
------	----------

港南区		区政推進課	
担当者名	中島・大城	TEL	847-8327
共通区	南区		

継続年数	2年
------	----

提案種別	
予算関連	

番号	項目
----	----

3	桜岡小学校の建替え
---	-----------

◇地域の課題、基礎データ等

港南区の桜岡小学校は、令和3年度に「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、建替え事業を進めていくことが決まりました。  
 桜岡小学校には教育活動に必要な機能のほか、放課後キッズクラブ、地域防災拠点、地域活動によるグラウンドや地域交流室の利用等があり、地域の一拠点として重要な役割を果たしています。  
 そのため、建替えにあたっては地域からの要望を十分反映させるとともに、建替え期間中の代替施設についても確保していく必要があります。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等     2 市民からの提案等     3 地区担当制     4 地域懇談会等  
 5 区民アンケート     6 区民要望     7 関係団体からの要望  
 8 その他 ( )

◇区民からの具体的な要望

通学路の安全面の確保が懸念、内装の木質化を進めてほしい、校舎内の動線の改善やエレベータ設置をしてほしい、洋式トイレや、照明を明るくするなど環境を良くしてほしい等

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

- ・建替え事業の決定について、教育委員会事務局と共に連合町内会などに情報提供しました。
- ・再編整備検討専門会議に向け、桜岡小学校に係る地域課題や地域ニーズについて情報収集を行いました。
- ・地域の関係者を含めた検討会・報告会について、参加メンバーの選出などについて連合町内会と調整を行いました。
- ・上記の検討会に、教育委員会事務局と共に出席し、地域ニーズ等についての情報収集を行いました。

◇提案内容・概算額等

・内装の木質化、校舎内の動線の改善やエレベータ設置、地域防災拠点としての運用を円滑にできるよう建替え後の体育館・防災備蓄庫の位置や運用方法などについて、関係区局が調整し、地域の意見を聞きながら丁寧に進めること。  
 ・平成28年に同校の児童が死亡する交通事故が発生しており、児童の登下校時の安全確保は地域の重要な課題となっている。学校周辺の道路は狭いので、バスも通行するなど交通量も多い。そのため、設計にあたっては児童の登下校時の安全が確保できるよう配慮すること。また、建替工事中は児童の通学経路と工事車両の動線が近接することも考えられるため、施工にあたっては児童の安全を最優先に考えること。

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	教育委員会事務局教育施設課
------	---------------

◆局回答内容

教育委員会事務局		教育施設課	
担当者名	水橋	TEL	671-3298

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 児童の通学における安全の確保、地域防災拠点の円滑な運用に配慮した計画となるよう、関係区局と連携を図りながら設計業務を進めます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

### 令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	教育委員会事務局	港南区		区政推進課		
		担当者名	中島・大城	TEL	847-8327	
		共通区	-			
		継続年数	4年			
提案種別						
予算関連						
番号	項目					
4	吉原小学校の建替え					
◇地域の課題、基礎データ等						
<p>港南区の吉原小学校は、令和2年度に「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、建替え事業を進めていくことが決まりました。地域や学校関係者の意見を聴きながら建替えの基本構想策定を進め、新しい学校のコンセプトは「子どもたちがのびのび学び、地域とともに歩む防災に強い学校」となりました。同小学校は地域防災拠点・小学生の放課後の居場所としても重要な役割を果たしており、建替えにあたっては、地域からの要望を十分反映させていく必要があります。</p> <p>令和4年5月に、基本計画を地域と共有しましたが、地域からは、体育館が2階になることで地域防災拠点としての利用に支障があることや、プールを屋上に設置することにより、プールから災害用ハマッコトイレへ送水する導管の設置も必要になるのではないか等の意見がありました。</p> <p>また、平成28年に区内の児童が死亡する交通事故が発生しており、児童の登下校時の安全確保は地域の重要な課題となっています。学校敷地内へつながる道路は何か所しかないため、工事が始まると児童の登下校と工事車両の導線が重なり、安全上の配慮が特に必要となります。</p>						
◇地域ニーズ等の収集手段						
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )						
◇区民からの具体的な要望						
通学路の安全面の確保が懸念、工事中の大型車の搬入について検討が必要、避難所としても安心して過ごせる施設にしてほしい、屋上のプールからハマッコトイレに水を流すための管等について検討が必要等						
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替え事業の決定について、教育委員会事務局と共に連合町内会などに情報提供しました。</li> <li>・再編整備検討専門会議に向け、吉原小学校に係る地域課題や地域ニーズについて情報収集を行いました。</li> <li>・地域の関係者を含めた検討会・報告会について、参加メンバーの選出などについて連合町内会と調整を行いました。</li> <li>・上記の検討会に、教育委員会事務局と共に出席し、地域ニーズ等についての情報収集を行いました。</li> </ul>						
◇提案内容・概算額等						
<p>地域防災拠点としての運用を円滑にできるよう、建替え後の体育館・防災備蓄庫・災害用ハマッコトイレ・災害時緊急給水栓の位置や運用方法について、関係局が地域の意見を踏まえ、積極的に調整を行いながら、基本設計・実施設計を進めてほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童の安全に配慮した工事計画の策定</li> <li>2 十分な容量を持つ防災備蓄庫の、適切な位置への配置に向けた調整</li> <li>3 ハマッコトイレ及び災害時緊急給水栓の適切な位置への配置に向けた調整</li> <li>4 体育館（地域防災拠点）へ誰もが移動しやすい計画の策定</li> <li>5 工事期間中の放課後キッズクラブのルーム・遊び場所の確保</li> </ol>						
◇参考：区執行体制上の課題						
現行の体制で対応						
◇所管局						
所管局課	教育委員会事務局教育施設課					

#### ◆局回答内容

教育委員会事務局		教育施設課	
担当者名	水橋	TEL	671-3298

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>地域防災拠点としての運用の円滑化、工事中における児童等の安全確保を図るため、関係局と連携しながら、設計及び工事を進めます。</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

提案種別: 予算・制度関連
所管局名: 建築局
港南区
総務課、区政推進課
担当者名: 武田、谷川
共通区: -
TEL: 847-8315, 847-8319
継続年数: 4年

Table with 2 columns: 番号, 項目
Row 1: 5, 市営野庭住宅・野庭団地の再生

地域課題、基礎データ等
1 今後一斉に更新時期を迎える野庭住宅・団地において、10年・20年後の将来を見据えたビジョンの実現に向け、地域で出来る身近な取組を進めていくことが重要です。
2 令和3年11月に策定した「野庭住宅・野庭団地 未来ビジョン」において旧野庭中学校を含む深田橋周辺を商業の充実・交流・雇用の場として創出していくための複合拠点と位置付けたことから、今後住民や事業者のニーズを踏まえ、地域に必要な機能を取り入れるようビジョンで位置付けた複合拠点の具体化を図っていく必要があります。
3 その中で旧野庭中学校は令和元年度末に閉校して以降、地域代表者等からの存続要望に基づき、地域防災拠点等として学校敷地及び校舎を暫定利用するとともに、住民アンケート（令和2年3月実施）でも「避難場所や防災の拠点機能」が要望として挙がっていることから、地域防災拠点としての機能の保持と地域の活性化という視点を持って学校跡地の活用検討をしていく必要があります。
4 令和5年度より本格的に着手された市営野庭住宅の建替え事業については、居住者等の意向を踏まえた形で事業手法の選定や施工スケジュールの検討が求められています。
【基礎データ】
野庭地区の敷地面積：約72.6ha 住戸数：（市営野庭住宅）3,294戸、（野庭分譲団地）2,869戸
旧野庭中の公費面積：18,100.12m2
地域ニーズ等の収集手段
□1 日常の窓口対応等 □2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 ■4 地域懇談会等
■5 区民アンケート ■6 区民要望 ■7 関係団体からの要望
□8 その他（ ）

区民からの具体的な要望
・「未来ビジョン」策定後の地域の取組等について、行政としても地域へのサポート体制をしっかり維持してほしい。
・現在、地域防災拠点としての機能を持つ旧野庭中学校について、防災拠点機能の保持と学校跡地活用による地域の活性化という2つの視点を持って検討を進めてほしい。
・市営野庭住宅の建替えについては、丁寧な事業説明を行ったうえで、地域の理解を得ながら進めてほしい。

これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

【都市計画マスタープラン港南区プラン】港南区南部地域：野庭周辺大規模団地の再生及び住環境の整備
＜想定される重点的な取組＞
「市営住宅の再生に関する基本的な考え方に従った団地再生」
「集合住宅建替えにおける、地権者の合意形成の支援や、周辺住民に配慮した適切な都市計画制度等の活用」
1 野庭地区におけるニーズ把握の為にアンケート調査を行い今後の課題・要望を抽出、調査結果を地域へ提供。
2 令和3年11月に、建築局及び地域関係者と共に、まちの将来のイメージをまとめた「未来ビジョン」を策定。また、「未来ビジョン」の実現に向けた地域の各取組同士の連携や情報共有を目的とした「未来につながる会」を設立。
3 「未来につながる会」の運営及び地域による個別取組に対する相談対応等の支援。
4 令和4年3月、地域防災拠点と民間事業の併存について、複数事業者に対し個別ヒアリングを実施。
5 地域防災拠点機能の扱いについて、令和4年5月に地域防災拠点運営委員会の代表と意見交換を実施。直近で地区割り当てを見直した経緯や現状より拠点が遠くなることなどを理由に、地域防災拠点存続の要望あり。

提案内容・概算額等
1 区局連携による野庭団地・野庭住宅の再生
2 長期的な団地再生事業になることを考慮した、「未来ビジョン」策定後における地域へのサポート体制の維持
3 地域防災拠点機能確保を前提としつつ、「未来ビジョン」を踏まえた地域の活性化に資する野庭中学校跡地活用の検討
4 地域防災拠点の機能を最大限引き出すこと
5 市営住宅建替え事業の早期完成を目指した事業手法等の検討と地域住民の理解が得られるような丁寧な説明の実施
参考：区執行体制上の課題
現行の体制で対応
所管局
所管局課: 建築局市営住宅課

局回答内容

建築局
市営住宅課
担当者名: 永田・仲田・原田
TEL: 671-2942

Table with 2 columns: 対応の有無, 対応内容
Row 1: 対応する場合, 対応する
Row 2: 対応する場合, 対応の内容
野庭住宅と野庭団地の団地再生にむけた「未来ビジョン」の実現に向け、地域活動の支援のための広報活動費等を局が負担します。また、野庭中学校跡地については、港南区、総務局、財政局と連携し、地域防災拠点の確保や地域の活性化につながる活用方法を検討します。引き続き、区と連携して地域の意見を集集し、各々の地域活動が連携し発展できるよう情報提供等を行います。なお、地域防災拠点の機能等については地域防災拠点運営委員会との調整をお願いします。
Row 3: 対応しない場合, 対応する局の考え方
Row 4: 対応しない場合, 対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名 医療局

港南区 区政推進課
担当者名 谷川、河邊 TEL 847-8319
共通区 -

継続年数 6年

提案種別 予算関連
番号 6 新たな横浜市南部病院へのアクセス強化
◇地域の課題、基礎データ等
地域中核病院である済生会横浜市南部病院については、施設の老朽化・狭あい化が課題となっていることから再整備を行うこととし、令和2年3月に旧港南工場敷地(市有地)を移転先として、済生会と基本協定を締結しました。
また、令和3年度に新病院の規模や診療計画などの基本計画が策定され、令和5年4月には現計画内容について地域住民向けの事業者説明会が開催されました。
旧港南工場敷地は現病院と比較して港南台駅から離れていることに加え、前面道路(環状3号線)から高低差のある敷地となっていることから、区民が利用する上での病院へのアクセスに課題があります。更には、車による来院者も増えることが予想され、それに伴い生活道路等へ進入する車両増加が懸念されます。
【基礎データ】
旧港南工場敷地(市有地): 港南区港南台八丁目4番2他、港南台駅より約1.2km、敷地面積 約40,000㎡
新病院施設規模: 病床数 420床、診療科数 31科、延床面積 約36,000~38,000㎡
新病院の移転開院予定: 令和10年度
◇地域ニーズ等の収集手段
1 日常の窓口対応等 2 市民からの提案等 3 地区担当制 4 地域懇談会等
5 区民アンケート 6 区民要望 7 関係団体からの要望
8 その他
◇区民からの具体的な要望
1 港南台駅から直接病院へ行くことが出来る交通手段を整備してほしい。
2 旧港南工場敷地は前面道路より一段上がった敷地となっているので、病院内へ入る動線はバリアフリー化してほしい。
3 車で来院したいので、十分なスペースの駐車場を整備してほしい。
4 通学路を含めた生活道路への交通量増加が想定されるので、しっかりと安全対策を施してほしい。
5 生活道路への迂回進入を軽減するため、一般車両が前面道路から新病院へ右折入場出来るようにしてほしい。
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。
都市計画マスタープラン港南区プラン: 港南区南部地域、港南台駅周辺の整備における重点的な取組「済生会横浜市南部病院の再編・再整備」
1 地域の希望である港南台地区での病院移転を実現するため、局に対して強く要望してきました。
2 旧港南工場敷地への移転整備について、区局が連携して地域住民との意見調整を行い、理解が得られています。
3 病院基本計画策定など、病院計画全般について区連会や地区定例会への説明の場を設けました。
◇提案内容・概算額等
「アクセスしやすい病院の整備」
1 港南台駅から新病院までシャトルバス等を走らせることによるアクセス性の向上
2 病院敷地内及び病院建物内において誰もが円滑に移動できるよう、病院敷地全体としてのバリアフリー化の促進
3 十分な台数の駐車場を確保することにより、車での来院者に対する利便性の向上
4 交通量の多い前面道路から、一般車両や緊急車両がスムーズに病院へ進入できるように整備上の工夫
5 生活道路等への交通量増加に対応した安全対策の検討
◇参考: 区執行体制上の課題
現行の体制で対応
◇所管局
所管局課 医療局地域医療課

◆局回答内容

医療局 地域医療課
担当者名 瀬下・服部 TEL 671-2972

対応の有無 対応する
対応する場合 ◇対応の内容
令和10年度の開院に向けて、南部病院が策定する設計の中で、アクセスや駐車場についても考慮するよう求めています。また、生活道路等への交通量増加に対応した安全対策については、車で来院の方が、住宅街を通り抜けずに来院できるよう、新病院の前面道路を改良し、右折進入可能な計画とするなど、神奈川県警察と引き続き協議を進めて行きます。
対応しない場合 ◇課題に対する局の考え方
◇対応する場合の課題

### 令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	こども青少年局	港南区		こども家庭支援課	
		担当者名	竹森	TEL	847-8393
		共通区	全区		
		継続年数	新規		
提案種別					
予算関連					
番号	項目				
7	放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ事業(補助金交付申請事務等)へのクラウドサービス導入における運営主体への支援体制の構築				
◇地域の課題、基礎データ等					
<p>放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ事業(以下「放課後2事業」という。)の約53%は地域住民が運営に携わる「地域立ち上げ法人」が運営しており、地域ぐるみで小学生の放課後の居場所づくりを担っています。一方、放課後2事業の補助金交付事務は、国の補助金制度の変更等に伴いルールが複雑化しているため、申請・報告書類を作成する運営主体はもちろん、紙媒体で提出書類の審査・補正指示を行う区の負担は年々増大しています。</p> <p>上記の状況において、令和5年度よりこども青少年局が「補助金交付事務等へクラウドサービスの導入検討」を開始し、早ければ令和6年度より全区にクラウドサービスが導入される見込みとされています。一方、クラウドサービスの着実な導入・推進にあたっては、運営主体に対して丁寧かつ多様な支援策を講じる必要があります。</p>					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他( )					
◇区民からの具体的な要望					
<ul style="list-style-type: none"> <li>提出資料の種類が多く、書類間の転記事項も多いため、転記ミス等を誘発しやすい状況である。</li> <li>書類の補正指示が多いため、その対応で本来業務(児童の育成支援)にあてる時間が削がれる。</li> <li>これまで紙管理で事務処理してきたため、デジタル化に必要な機器(スキャナ等)がない。</li> </ul>					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付事務の繁忙期前(年3回)に「事務説明会」を開催し、書類作成上のポイントを解説。</li> <li>メール、電話だけでなく、場合によっては運営主体に区職員がおもむき、書類の作成支援を実施。</li> <li>繁忙のピークカットを目的として、運営主体の事務状況をこまめに確認、フォローを実施。</li> </ul>					
◇提案内容・概算額等					
<p>以下の内容について、局主導で実施するとともに、運営主体・区の事務負担の軽減を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラウドサービス導入にあたり必要な機材等の調達に必要な費用の補助(18区計: 〇〇〇〇円)</li> <li>クラウドサービス導入にあたり運営主体・区の事務負担軽減に資する施策( 〇〇〇〇円)</li> <li>例: 導入時の操作研修会の実施、コールセンターの開設、出張サポートの委託等</li> <li>全キッズクラブ公募開始(令和8年度)までに全クラブでのデジタル完全移行を目指すとともに、運営主体・区が見直しをもってDX化に対応できるよう、具体的な工程の策定と情報共有</li> </ul>					
◇参考: 区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課	こども青少年局放課後児童育成課				

#### ◆局回答内容

こども青少年局		放課後児童育成課	
担当者名	山田	TEL	671-4446

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容 クラウドサービスの導入にあたっては、クラブが必要な機材の購入をできるように補助するとともに、クラブや区の負担を軽減するため、操作研修会等の実施に向けて準備を進めていきます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	
	◇対応する場合の課題



### 令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	環境創造局
------	-------

港南区		港南土木事務所	
担当者名	柿崎	TEL	843-3711
共通区	全区		

継続年数	新規
------	----

提案種別	制度関連
------	------

番号	項目
8	公園施設点検のデジタル化

**◇地域の課題、基礎データ等**

現在、横浜市の公園は年間を通して通常点検3回と詳細点検1回の計4回の点検を行っておりますが、その公園施設点検内容は紙媒体で管理しているため、過去の状況の確認や検索に時間を要しています。また、点検の際には各公園ごとの点検ファイルを持参していること、加えて膨大な点検ファイルは事務所の書庫スペースに入りきらない状況になっております。

こうした状況を踏まえ、令和4年度より環境創造局公園緑地維持課がタブレットを用いた点検を、港南土木事務所管内の港南ふれあい公園で試行しました。令和5年度は港南土木管内182公園に拡充する予定となっております。データベース上で各公園の状況が把握できることとなります。

こうした取組について、令和6年度には全18土木事務所に拡充していただき、公園施設点検の効率化かつ紙媒体の縮減に伴う省エネ化を進めていただきたいと思います。

**◇地域ニーズ等の収集手段**

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他 ( )

**◇区民からの具体的な要望**

**◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。**

「あったかデジタル港南」として、業務の効率化を図り、区民の皆様と向き合う時間を増やすことを目指しています。点検の効率化を図るためのタブレット試行モデル公園として、港南ふれあい公園を利用しています。

**◇提案内容・概算額等**

公園の点検内容を電子データとして管理することにより業務の効率化が図れます。それにより、子供や子育て世代が安心して公園を利用できる体制がより強化されます。また、その内容を港南土木事務所だけではなく本庁公園担当部署も共有することにより、市内公園の施設状況を把握出来るよう、早期のシステム構築を環境創造局に要望します。

**◇参考：区執行体制上の課題**

現行の体制で対応

所管局	環境創造局公園緑地維持課
-----	--------------

**◆局回答内容**

環境創造局		公園緑地維持課	
担当者名	山野	TEL	671-3848

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 公園管理におけるデジタル技術の活用に向けては、これまで令和4年度よりタブレットを用いた施設点検に着手し、令和5年度には試行区で実証実験を行うなどシステムの構築に取り組んできました。令和6年度は実証実験を継続するほか、実験結果を反映したシステムの改修を実施し、その後は他土木事務所への展開に向けて調整を進めます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題